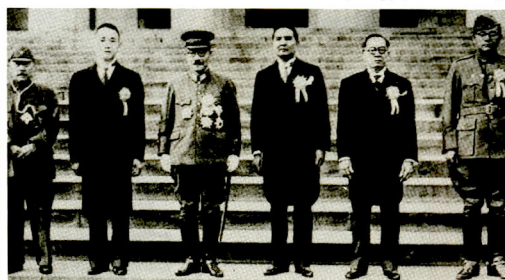




写真図説

日本の侵略

700枚余の貴重な写真・資料図版を収録



従軍慰安婦 資料集

11月下旬刊

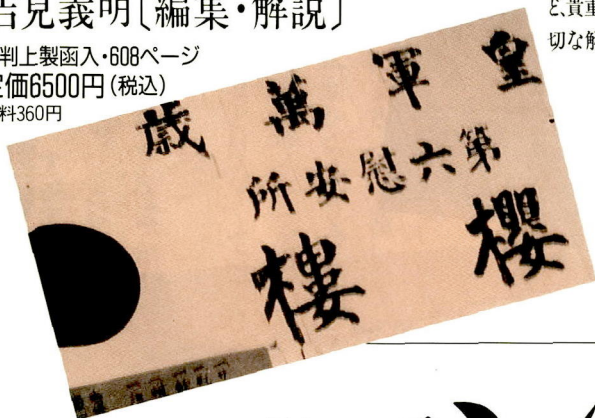


日米豪で新発見の重要資料を網羅

重大ニュースとして報じられた従軍慰安婦関係資料の発見者・吉見教授が、その後発見された米軍の資料などと合わせて集大成した話題の書。防衛研究所図書館所蔵資料だけでなく、アメリカ・オーストラリアの文書をも収録。現在入手可能なすべての資料を網羅した。日本軍の陣中日誌をはじめ、米軍の日本兵捕虜尋問報告、オーストラリア従軍看護婦の証言など、貴重な記録のすべてがこの一冊に収められている。吉見教授による懇切な解説と正確な資料解説を付し、読みやすい資料集として刊行される。

吉見義明〔編集・解説〕

46判上製函入・608ページ
定価6500円(税込)
送料360円



〔資料集〕

マンハッタン 計画

93年3月刊

日米開戦後まもなく開始された原爆開発計画の全貌を厳選した約250点の資料でたどる。アインシュタインのローズベルトあての原爆開発を進言する手紙にはじまり、広島・長崎への投下後の影響調査にいたる経過を克明に追跡する。

- I. 原爆の開発と製造
- II. マンハッタン計画の国際関係
- III. 資源戦略と海外諜報活動
- IV. 対日原爆使用の準備
- V. 原爆投下

山極晃・立花誠逸編/岡田良之助訳

A5判上製貼函入・752ページ
予価9500円(税込) 送料360円

大月書店

東京都文京区本郷2-11-9
電話03(3813)4651(代表)
FAX.03(3813)4656・振替東京3-16387

写真図説 日本の侵略	注文数	取扱い
従軍慰安婦資料集		
〔資料集〕マンハッタン計画		
氏名		
住所・連絡先		

インドネシアが生んだ世界的作家プラムディア・アナンタ・トゥールが書いている自伝のなかにこんな話があります。――将来の希望はお百姓さん、と答えた七歳の「私」は、小さな菜園を与えられ、イモを育てています。ある日、その畑仕事をてつたしながら、母親が、「私」に語ります。「お父さんも、種イモを植えていらつしやるのです。それは今は食べられないけれど、お前が大きくなったころには大地に根を張って、食べきれないほどたくさん収穫をもたらすのだよ。」作家の父親は私立学校の校長先生で、民族主義運動に献身していました。

さて私たちはいま、次の世代のためにどのような種イモを植えているのでしょうか。

隣人の畑まで――プラムディアの父親たちが一九三〇年代に手塩にかけた畑も含めて――踏み荒らした前の世代の行いの後始末をつけることもないままに、私たち自身の世代も、新たなかたち（経済侵略、環

刊行にあたって

境破壊……で隣人の畑を荒らしつづけているのではないでしようか。

本書が明らかにしているのは、前の世代による、目を覆いたくなるような所業の数々です。しかし、いまおとなである私たちは、そうした過去と正面から向き合い、傷を癒すことに力を尽くし、新たな破壊をやめさせることなしには、次の世代のための「種イモ」を私たちの「畑」に植えることはできないでしょう。そのような、むずかしいけれども、ぜひやりとげなくてはならない仕事のために、本書が役立てられることを祈つてやみません。

そして、これからおとなになる若い読者のみなさんは、祖父母や父母の世代の過ちと弱さを克服するための知恵を、本書を手がかりとして築き上げてほしいと思います。

アジアに対する日本の戦争責任を問う民衆法廷準備会



写真図説

大月書店

日本の侵略

内容目次

刊行にあたって
アジア民衆法廷準備会

近代日本の侵略概史
高嶋伸欣

中国(編集担当・吉田 裕・風間秀人)

- 1 柳条湖事件の勃発
- 2 侵略の拡大
- 3 第一次上海事変
- 4 カイライ国家の建設
- 5 帝政の実施
- 6 反満抗日運動の展開
- 7 ゲリラの封じ込め
- 8 満州の兵站基地化
- 9 対ソ戦略態勢の強化
- 10 日中戦争の勃発
- 11 南京大虐殺
- 12 戦争の長期化
- 13 占領地の統治
- 14 日本の国際的孤立化
- 15 重慶爆撃
- 16 毒ガス戦の展開
- 17 対ゲリラ戦の強化
- 18 「アヘン戦争」
- 19 経済戦争
- 20 戦争と中国民衆

朝鮮(編集担当・高嶋宗司)

開発

移民(1)

移民(2)

皇民化(1)

皇民化(2)

強制連行(1)

強制連行(2)



インドネシア(編集担当・大村哲夫)

- 1 ケンペイタイ
- 2 ロームシヤ
- 3 サイケイレイ
- 4 ギユンゲン
- 5 ムルデカ

ビルマ・インド(編集担当・田辺寿夫)

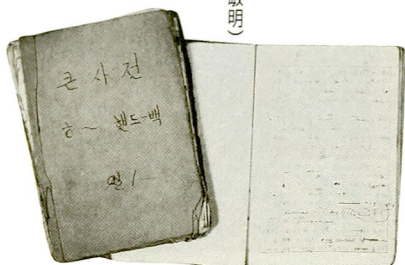
- 1 ビルマロードを封鎖せよ
- 2 謀略作戦はじまる
- 3 幻の解放軍
- 4 日本時代の悪夢
- 5 チェロデリー
- 6 ファシスト日本を討て

フィリピン(編集担当・上田敏明)

- 1 ミラ攻略
- 2 バタアン「死の行進」
- 3 日本式軍政
- 4 幻影の共栄圏
- 5 抵抗と協力
- 6 日本の降伏
- 7 占領の爪あと

仏領インドシナ(編集担当・吉沢南)

- 1 北部仏印進駐
- 2 南部仏印進駐
- 3 南方作戦基地としての仏印
- 4 大戦下の仏印
- 5 餓死
- 6 降伏、独立に敵対



香港(編集担当・和仁康夫)

- 1 ブラック・クリスマス
- 2 二年八ヵ月
- 3 香港の解放
- * 香港軍票補償問題

英領マレー(マレーシア)(編集担当・高嶋伸欣)

- 1 コタバル侵攻
- 2 マレー戦線
- 3 シンガポール陥落
- 4 日本軍占領下の生活と経済
- * 今もつづく遺骨の発掘

タイ(編集担当・高嶋伸欣)

- 1 一九四二年二月八日——タイ
- 2 日タイ軍事同盟と自由タイ運動
- 3 「死の鉄道」泰緬鉄道
- * 泰緬鉄道の今

シンガポール(編集担当・高嶋伸欣)

- 1 戦前のシンガポールの日本人社会
- 2 開戦時のシンガポール
- 3 陥落以前のシンガポール
- 4 抗日運動
- 5 「大検証」
- 6 占領下の経済と社会
- * 戦後の逆転

沖縄(編集担当・田中伸尚)

- 1 皇民化
- 2 文化統制
- 3 戦時体制
- 4 根こそぎ動員と疎開
- 5 沖縄戦
- 6 皇民化の果て
- * 戦後の沖縄

北海道・樺太(編集担当・田中伸尚)

- 1 開拓と同化
- 2 強制移住
- 3 北海道旧土人保護法
- 4 同化から皇民化へ
- 5 復権をめざして
- 6 十五年戦争への参加
- 樺太



南洋群島(編集担当・今泉裕美子)

- 1 軍政時代

- 12 1 独立運動(1)
- 13 2 独立運動(2)
- * 賠償・補償要求

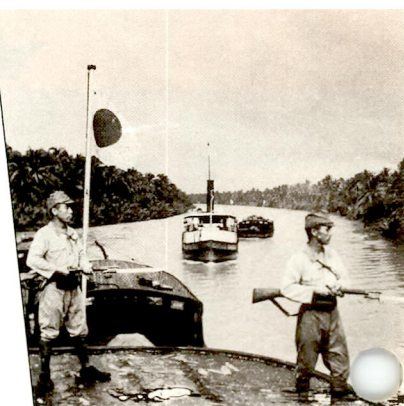
台湾 (編集担当・中村ふしる)

- 1 下関条約から日中戦争まで
- 2 日中戦争はじまる
- 3 皇民化教育
- 4 国民精神総動員
- 5 皇民奉公会
- 6 軍事動員
- * 台湾人元日本兵の戦後

オーストラリア (編集担当・由中利幸)

- 1 オーストラリア本土攻撃
- 2 ニーギニア戦線におけるオーストラリア軍
- 3 毒ガス人体実験の犠牲者
- 4 日本軍に虐待されたオーストラリア兵捕虜

- 5 日本人の「南洋」観
- * 「ミクロネシア」のなかの「南洋群島」



12 戦争の長期化

88

本政府は軍事力によって中国を屈伏させようとして積極的な侵攻作戦を展開し、一九三八年五月には徐州を、一〇月には武漢および広東を占領したが、首都を重慶に移転させた国民党政府は依然として抗戦を継続し、日本は長期戦の泥沼のなかには、かのにめりこんでゆくことになった。こうして長期戦への転換が決定的なものとなるなかで、前線の日本軍のなかには、すさまじい軍紀の退廃が生まれ、残虐行為が常態化してゆく。

中国

ドキュメント映画に見る
日本の侵略 (編集担当・谷川義雄)

切手に見る日本の侵略 (編集担当・西島有厚)

写真提供・出典一覧
参考文献

中支那方面軍が中国の首都南京を攻略した当時、日本政府と中国政府との間には駐華ドイツ大使トラウトマンを介した和平交渉が進展しつつあったが、首都南京の陥落という事態に眩惑された日本政府が過酷な和平条件を提示したため、トラウトマン工作とよばれたこの和平工作は不調に終わった。この結果、翌一九三八年一月、近衛内閣は「爾後国民政府ヲ対手トセス」との第一次近衛声明を発表し、日中戦争の政治的な解決の道をみずからの手でとぎすことになる。以後、日



難民の検問を行なう日本軍兵士。広東作戦の目的は、中国に対する海外からの重なる広東—香港ルートを遮断することにあった。

●第6師団によって占領された漢口市内の中国人難民・1938年10月26日。武漢とは武昌・漢口・漢陽の3都市の総称である。



大月書店

東京都文京区本郷2-11-9

電話03(3813)4651(代表)

FAX.03(3813)4656・振替東京3-16387

5判・上製カバー・288ページ

価4800円(税込)

送料360円



④中国軍捕虜を銃剣で刺殺する日本軍兵士。後方では多くの日本兵がこの虐殺を「見物」している。1938年7月から1年間、南京の歩兵病院で衛生伍長として勤務した坂本多喜二氏が撮影したもの。

①徐州北停車場に突入する日本軍。徐州作戦の主たる目的は、北支那方面軍および中支那派遣軍の分進合撃によって中国野戦軍を包囲・殲滅することにおかれていたが、実際には中国軍主力の捕捉には成功しなかった。



②広東市要な補



⑤上に同じ。中国戦線では、新兵に「度胸をつけさせる」などと称して、捕虜や農民を銃剣で刺殺する「刺突訓練」が公然と行なわれていた。



中国